議会だより

白山市

第16号

2009

平成21年５月

●写真提供：竹谷宏二さん（白山市松任美術協会理事）

「春の野辺に」　撮影地：白山市白山町

レンゲ畑と菜の花が競い合い
里山は春の雰囲気がいっぱいであった

[目次]

議会の組織 …… 2
平成２１年３月定例会概要 …… 4
一般会計歳出予算の概要 …… 6
一般質問 …… 8
常任委員会レポート …… 14
市民の声・編集後記 …… 16

議会議員の紹介

本屋 彌壽夫
（もとや　やすお）
68 歳
無所属
当選２回
長島町

安田 竹司
（やすた　たけし）
63 歳
無所属
当選２回
源兵島町

古河 尚訓
（ふるかわ　まさのり）
61 歳
社民党
当選２回
宮永新町

小川 義昭
（おがわ　よしあき）
60 歳
無所属
当選２回
倉光五丁目

森本　茂
（もりもと　しげる）
60 歳
無所属
当選１回
蓮池町

石地 宜一
（いしじ　よしかず）
57 歳
無所属
当選１回
石立町

永井 徹史
（ながい　てつし）
42 歳
無所属
当選１回
白峰

杉本 典昭
（すぎもと　のりあき）
63 歳
無所属
当選２回
徳丸町

岡本 克行
（おかもと　かつゆき）
58 歳
無所属
当選２回
横江町

宮岸 美苗
（みやぎし　みなえ）
58 歳
日本共産党
当選２回
宮永新町

村本 一則
（むらもと　かつのり）
55 歳
無所属
当選２回
大竹町

宮中 郁恵
（みやなか　いくえ）
54 歳
公明党
当選２回
富光寺町

北嶋 章光
（きたじま　あきみつ）
51 歳
無所属
当選２回
美川末広町

大口 英夫
（おおぐち　ひでお）
43 歳
無所属
当選１回
新成三丁目

前多 喜良
（まえだ　きよし）
60 歳
無所属
当選２回
鶴来水戸町三丁目

清水 芳文
（しみず　よしふみ）
55 歳
公明党
当選２回
千代野西四丁目

竹田 伸弘
（たけだ　のぶひろ）
55 歳
無所属
当選２回
相川新町

吉田 郁夫
（よしだ　いくお）
52 歳
無所属
当選２回
鹿島町

寺越 和洋
（てらこし　かずひろ）
51 歳
無所属
当選２回
日向町

小島 文治
（こじま　ぶんじ）
70 歳
無所属
当選２回
あさひ荘苑二丁目

石田 正昭
（いしだ　まさあき）
66 歳
無所属
当選２回
村井町

徳田　巌
（とくだ　いわお）
68 歳
無所属
当選２回
平松町

中西 恵造
（なかにし　けいぞう）
60 歳
無所属
当選２回
井関町

西川 寿夫
（にしかわ　ひさお）
64 歳
無所属
当選２回
倉光西二丁目

岡田 俊吾
（おかだ　しゅんご）
61 歳
無所属
当選２回
知気寺町

藤田 政樹
（ふじた　まさき）
61 歳
無所属
当選２回
北安田町

北川 謙一
（きたがわ　けんいち）
61 歳
無所属
当選２回
美川永代町

北村　登
（きたむら　のぼる）
61 歳
無所属
当選２回
釜清水町

敬称略　議席順に掲載　上段より氏名、年齢（平成 21 年５月１日現在）、政党名、当選回数、住所の順に掲載

新議長・副議長を選出する

今定例会において、議長、副議長の選挙が行われ、議長に杉本典昭議員、副議長に前多喜良議員が選出されました。また、各常任委員会、議会運営委員会及び議会だより編集委員会の委員が選出されました。

議長　杉本　典昭

（略歴）白山市議会副議長、環境対策特別委員会委員長
松任市議2期

副議長　前多　喜良

（略歴）白山市議会生活経済常任委員会委員長
鶴来町議3期

常任委員会・議会運営委員会・議会だより編集委員会の組織

総務企画常任委員会

前多喜良　中西恵造
小川義昭　◎北嶋章光
永井徹史　○石地宜一
岡田俊吾

文教福祉常任委員会

宮岸美苗　藤田政樹
吉田郁夫　◎村本一則
大口英夫　○宮中郁恵
竹田伸弘

生活経済常任委員会

清水芳文　北村　登
岡本克行　◎本屋彌壽夫
寺越和洋　○森本　茂
北川謙一

建設企業常任委員会

石田正昭　西川寿夫
小島文治　◎安田竹司
杉本典昭　○古河尚訓
徳田　巌

議会運営委員会

◎岡本克行　○清水芳文　小川義昭
本屋彌壽夫　村本一則　寺越和洋
吉田郁夫　藤田政樹

議会だより編集委員会

◎大口英夫　○宮中郁恵　石地宜一
古河尚訓　安田竹司　宮岸美苗
吉田郁夫

◎委員長　○副委員長

3月定例会概要

平成21年第1回市議会定例会
3月9日（月）～24日（火）

3月定例会においては、市長から提案のあった予算案15件、補正予算案6件、条例案13件、事件処分案10件、専決処分案1件の合計45件をすべて可決、承認し、人事案6件についても同意または答申しました。

人事案のうち、副市長には北田愼一氏及び魚直樹氏の選任に同意し、そのほか議員提出の議会議案2件を可決しました。

議会組織では議長に杉本典昭議員が、副議長に前多喜良議員がそれぞれ就任し、常任委員会、議会運営委員会の選任及び議会だより編集委員会の設置を行ないました。また、選挙管理委員会委員及び補充員を選出しました。

平成21年度当初予算総額758億4722万円を骨格予算として可決

一般会計439億2400万円
特別会計・事業会計319億2322万円

平成21年度当初予算は、2月22日執行の市長選挙及び市議会議員選挙などの諸般の情勢を考慮し、重要な判断を必要とする施策などについては一部経費の計上を見送る、いわゆる骨格予算となりました。

■歳入

歳入については、景気後退の影響による法人市民税の大幅減収など、市税収入は、前年度と比べ、約13億円の減収となる一方で、地方交付税等は前年度と比べ約8億円の増額となりました。

■補正予算案……6件

一般会計については、6762万2000円を追加し、現計予算と合わせて、504億9838万6000円となり、その財源として、国・県支出金、市債、財政調整基金からの繰入金などを充て、収支の均衡を図りました。

国民健康保険、介護保険など5つの特別会計においては、直診診療施設への繰出金や介護従事者処遇改善臨時基金への積立等により、総額4836万2000円を追加しました。

なお、国の2次補正予算に関連する地域活性化・生活対策臨時交付金事業費、定額給付金給付事業費、子育て応援特別手当事業費をはじめ、北陸新幹線整備事業費、市道横江宮永線道路整備事業費、農林水産施設災害復旧事業費など計41件を次年度へ繰り越しました。

一般会計の主な補正項目

- 自立支援給付事業　1350万円
- 市地域振興公社運営負担金　4000万円
- 除排雪経費　1億5000万円
- 図書館費　505万円
- 体育施設管理費　500万円

■条例案……13件

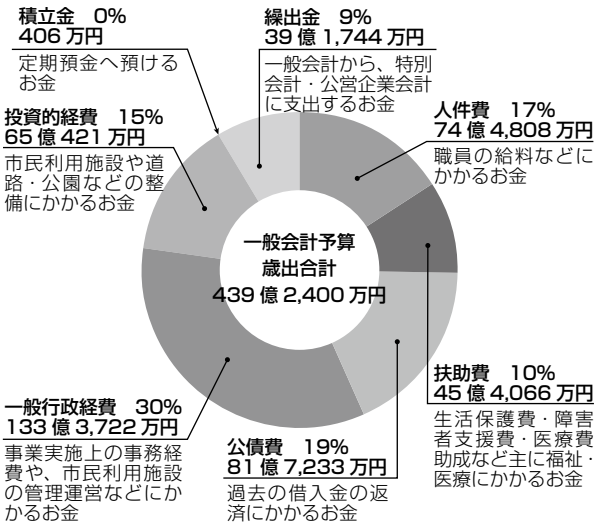
主な条例案の内容

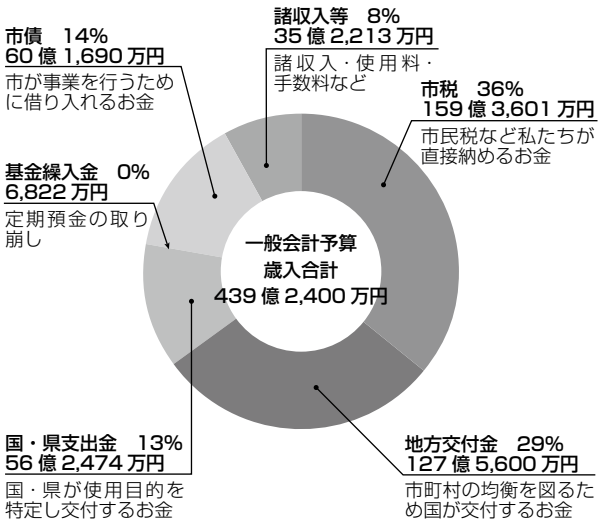
- 白山市個別外部監査契約に基づく監査に関する条例について
- 白山市ふるさと振興基金条例について
- 白山市介護保険介護従事者処遇改善臨時特例基金条例について
- 白山市ひとり親家庭等医療給付金支給条例の一部を改正する条例について
- 白山市副市長定数条例の一部を改正する条例について

■事件処分案……10件

主な事件処分案の内容

- 白山恐竜パーク白峰の指定管理者の指定について
- 河内千丈温泉金沢セイモアスキー場及び白山一里野温泉スキー場施設





■歳出

歳出については、扶助費などの一般行政経費は、通年規模に基づく額を措置しました。また、市民生活の安心・安全の確保や雇用創出対策などに直結する事業のほか、公共事業などの投資的経費のうち継続事業分については、必要な予算が計上されました。

その財源として、市税159億3601万円、地方交付税107億1000万円、国・県支出金56億2474万2000円、市債60億1690万円などを充てることとしています。

また、特別会計では、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、観光事業、下水道事業など12の特別会計及び水道事業会計、工業用水道事業会計を合わせ、総額319億2322万2000円が計上されました。

これらの予算案は、所管の委員会に付託後、慎重審議の結果、本会議ですべて可決しました。

の指定管理者の指定について

・白山市鳥越大日スポーツ施設の指定管理者の指定について

■専決処分の承認……1件

・専決処分（平成20年度白山市一般会計補正予算（第4号））の承認について（2月12日専決）

■人事案……6件

・教育委員会委員の任命について
高橋 敏男（坂尻町）喜田 紘雄（島田町）

・公平委員会委員の選任について
中村 繁雄（瀬戸）

・監査委員の選任について
村下 眞次（瀬戸）石田 正昭（村井町）

・湊財産区管理会委員の選任について
百津 正雄（湊町）田中 義明（湊町）荒尾 忠司（湊町）
前田 四郎（湊町）中村 勝治（湊町）西田 和正（湊町）安江 清（湊町）

・人権擁護委員候補者の推薦について
山口 正雄（美川末広町）

・副市長の選任について
北田 愼一（大竹町）　魚 直樹（徳丸町）

■議会議案……2件

・白山市議会委員会条例の一部を改正する条例について

・緊急雇用対策と労働法制の抜本的な改正を求める意見書

■選挙管理委員会委員及び補充員

・委員
瀬東 一雄（黒瀬町）村山 圓八（成町）谷橋志津枝（河内町口直海）
森　良次（安養寺町）

・補充員
小倉　勇（平加町）中川 義信（八田町）橋本 徹（瀬波）
嶋田美和子（北島町）

夢と希望を持てるふるさとづくり

協働と創造性のある自立したまちづくり

調和のある施策の推進や地域間のバランスに配慮した市政運営に努めるため、本庁及び7支所の庁舎管理費や行政情報のシステム管理費のほか、コミュニティバスの運行経費等が計上されました。

■主な事業

庁舎管理費	2億1086万円
北陸新幹線整備事業	2516万円
コミュニティバス運行事業	8733万円
行政情報システム管理費	1億7103万円
音声告知システム整備事業	3140万円

白山車両基地予定地

明るく温もりのある健康と福祉のまちづくり

高齢者の生きがいづくりを支援する老人クラブ活動補助事業費や障害者の医療や介護給付費等をはじめ、児童手当支給事業費や保育所運営費、生活保護費、介護保険特別会計への繰出金等が計上されました。

また、市民の健康づくりを推進するための市民健診事業費、母子の健康対策費や後期高齢者医療特別会計への繰出金を計上するとともに、公費負担による妊婦健診の回数の拡大や、里帰り出産の健診費用が計上されました。

■主な事業

生活保護費	3億9167万円
老人クラブ活動費補助事業	1026万円
障害者医療費給付事業	3億7270万円
自立支援給付事業	9億9150万円
児童手当支給事業	9億9888万円
子育て支援医療給付事業	2億1700万円
市民健診事業	2336万円
妊産婦、乳幼児健診事業	8658万円

にぎわいと活力みなぎるまちづくり

白山ろく地域における若者の定住促進対策や白峰地区中心市街地再整備事業にかかる特産品販売供給施設やまちなか公園の整備経費等が計上されました。

雇用対策では、失業者が増加傾向にある現状から、市が新たに臨時職員の雇用を行う緊急雇用創出事業や市内の民間企業に、新規雇用を促すふるさと雇用再生特別基金事業など、地域の雇用環境の改善を図る事業費が計上されました。

■主な事業

白峰地区中心市街地再整備事業	2億2701万円
定住促進対策事業	2143万円
ふるさと雇用再生特別基金事業	3650万円
緊急雇用創出事業	3890万円

農林業振興では、良質でおいしい米づくりを進めるため、有機肥料による土づくり事業への支援や担い手農家の育成、中山間地域等の耕作不利地域へ助成するほか、消費者ニーズにあった地域特産品の産地化やブランド野菜の確立などに取り組むこととされました。

また、生産者と消費者とを結びつける地産地消と健全な食生活を実践する食育を推進するため、新たに産業部に地産地消課が新設されました。また、森林環境を適切に

確かな未来を創造し、市民の誰もが

管理するための林道整備や農地・農業用水路等を整備するための負担金等が計上されました。

■主な事業

土づくり推進事業　1381万円
中山間地域直接支払事業　1253万円
林道整備事業　1億409万円

商工振興では、商業の振興、育成強化を図るため、商工会議所等へ助成するとともに、商店街のイベント等に支援することといたしております。また、工業の振興については、起業家への支援のほか、企業の機械設備資金預託金が措置されました。

■主な事業

商工振興事業　1513万円
商工振興強化育成助成事業　4935万円

スカイ獅子吼からの眺望

多様な地域資源を活かした観光と交流のまちづくり

観光振興では、白山ろくの地域振興と観光施策の一体的な推進を図るため、地域振興課及び白山ろく振興室が観光推進部に組織替えされました。

また、一層の誘客を図るため、観光情報の発信を強化するとともに、四季折々の自然資源を活かしたイベントの開催に助成することとされました。また、北陸鉄道石川線の存続を図るため、電車を活かした観光と街づくり事業に取り組む経費が計上されました。

■主な事業

獅子吼高原振興事業補助金　4200万円
観光情報発信等整備事業　90万円
全国獅子舞フェスティバル事業　700万円
白山スーパー林道利用助成事業　100万円

特産品販売供給施設完成予想図

安全で安心できるまちづくり

建設事業では、市道の維持管理費、交通安全施設等の整備、継続事業の区画整理事業、市営住宅建設事業等のほか、金剣通り線JR横断道路事業や、松任駅自由通路等整備事業について、所要の経費が計上されました。

防災対策では、地域の消防・防災の要である22の消防分団活動経費及び一ノ宮、鳥越分団の消防ポンプ自動車整備費のほか、白山石川広域事務組合の新消防本部庁舎建設にかかる負担金等が計上されました。

■主な事業

市道整備事業（あさひ荘苑福増線・末松徳光線・横江宮永線・北陸新幹線建設関連市道付替事業）　6億4410万円
サイクルステーション白山下整備事業　4000万円
松任駅自由通路等整備事業　2億5000万円
松任駅南土地区画整理事業　11億4548万円
市営住宅建設事業　2億1125万円
消防本部等移転新築事業　10億3049万円
消防ポンプ自動車整備事業（一ノ宮、鳥越分団）　3500万円
蝶屋分団拠点施設整備事業　2130万円

感性豊かな心を育むまちづくり

教育環境の充実を図るため、現在、建設を進めている美川小学校の改築事業費、さらに、児童、生徒の急増に対応するため、蕪城小学校及び松任中学校の増築事業費が計上されました。

また、各地域に根ざした固有の伝統文化や貴重で特色ある文化財を通じて、豊かな感性や思いやりの心が育まれるとの考えのもと、その保存や調査のための所要の経費が計上されました。

美川小学校完成予想図

■主な事業

学校ネットワーク統合事業	1600万円
蕪城小学校増築事業	2億3751万円
美川小学校改築事業	12億2235万円
松任中学校増築事業	6750万円
国指定重要文化財小倉家住宅保存修理事業	2988万円

一般質問　議員10人　市政を問う

3月定例会の一般質問は、16日、17日の2日間にわたり行われました。

16日質問議員

宮中 郁恵 議員 …… 9ページ
「定額給付金」に市の支援策は

中西 恵造 議員 …… 9ページ
農業経営の基盤強化に向けての政策を求める

清水 芳文 議員 …… 10ページ
「緑のカーテン」運動の全市的展開を図れ

小川 義昭 議員 …… 10ページ
市総合計画を見直す考えはあるのか

古河 尚訓 議員 …… 11ページ
適切な通学区のあり方や構想を打ち出すべきだ

竹田 伸弘 議員 …… 11ページ
市長、二期目の意気込みは

大口 英夫 議員 …… 12ページ
インターンシップの受け入れを積極的に

17日質問議員

小島 文治 議員 …… 12ページ
副市長2人制の導入理由、目的について問う

宮岸 美苗 議員 …… 13ページ
石川線・鶴来駅～加賀一の宮駅は存続支援の対象か

村本 一則 議員 …… 13ページ
電気料金の契約を見直し経費削減をすぐに行え

皆さまの傍聴をお待ちしています

※本会議の傍聴は、当日、市役所7階で受け付けています。
※一般質問など本会議の詳しい内容は、白山市ホームページでご覧になることができます。
（http://www.city.hakusan.ishikawa.jp）

宮中 郁恵 議員

Q「定額給付金」に市の支援策は

A「プレミアム商品券」の発行を補助支援する

質問 定額給付金がスタートする。景気悪化と物価高騰に苦しむ国民の生活の支援と、個人消費を喚起し、景気の下支えが目的である。全国各地で、販売額より利用額を割り増ししたプレミアムつき商品券を、市と商工会が上乗せ分を負担し発行するなど、地元経済の活性化につながる取り組みが大きく広がっている。

定額給付金受付会場

本市の17億2000万円が個人消費・地元経済の起爆剤になるよう、市の支援策、商工会の取り組みを聞く。

市長 市内4商工関係団体は、現在検討中である。

市長 前向きに検討したい。

健康福祉部長 県の報告によるインフルエンザの発生状況は、今年に入ってからの数値はまだ公表されていない。しかし、かなりの発生があると感じている。

予防接種の公費助成を

質問 要望が多い中、今冬は、例年になく、インフルエンザ患者が多かったと感じた。流行が予想されていたのに、手を打たなかったことで、医療費の無駄遣いをしたのではないか。中学3年生までの予防接種公費助成の考えを聞く。

「障害」の表記を「障がい」に改めよ

質問 「害」の字の印象の悪さを取り除き、「障がい」への理解の深まりを促し、啓発していくことの重要性を認識せよ。障害福祉課の看板など新年度より平仮名に改めよ。

市長 賛否両論があり、今後の検討課題とする。

健康福祉部長 障害者施策の本質的なことではないという議論もある。

中西 恵造 議員

Q 農業経営の基盤強化に向けての政策を求める

A 6月の補正予算で対応していく

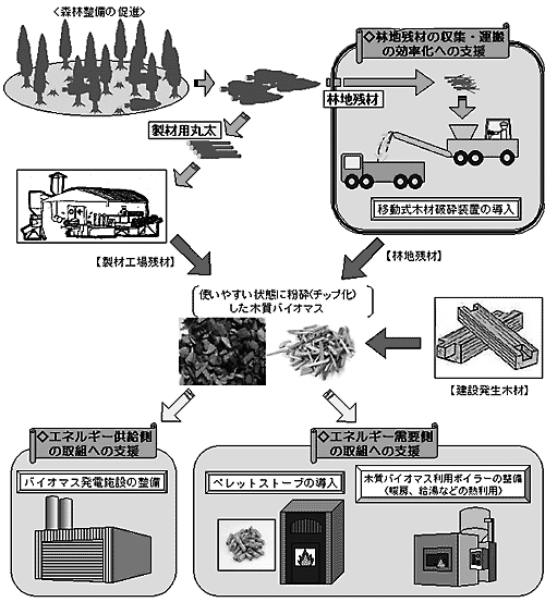
質問 優良農地の多くが転用され宅地化したことは、市税の増収と都市づくりに大いに役立ってきた反面、農地の減少が農業を続けていこうとする者にとって、農作業環境の悪化と農業施設の維持管理経費の負担が増えることになる。市は農地がつぶれることにより増えた税収の応分なものを農業への支援に回すべきと考えるがどうか。

市長 6月補正予算で対応したいと考えている。

新年度から農業関連事業に対する市の補助率を上げ、事業者の負担軽減を図っていく。

質問 農林水産業を大切にした循環型社会の建設を求める。

森が荒れると漁業も衰退するといわれ、森の再生は大切だ。今は限界集落といわれても、かつては人の住む必要があった所であり、必要とすべき産業の構築こそ大切だ。薬草を栽培して地元企業と共同開発する「薬草の郷」構想や、残材木のチップ化やペレット化を図り、燃料に利用する循環型環境都市へと向かう取り組みを求める。



木質バイオマス利用の図
「平成15年度林野庁予算の重点事項」より

市長 薬草の栽培・生産は山村振興の一環として、今後前向きに検討したい。また、不用材木のチップ化やペレット化については、環境型社会の有意義な施策であると認識しており、積極的に取り組む。

清水 芳文 議員

Q「緑のカーテン」運動の全市的展開を図れ

A 条例の中で反映させ、広く市民に協力を求める

環境施策について

質問 ①永久に持続可能な自然環境を後世の人たちに残すための市長の見解を示せ。②建物の壁面を植物で覆う壁面緑化運動「緑のカーテン」運動の全市的展開を図れ。アサガオの種の全戸配布を推進せよ。③住宅用太陽光発電の設置補助制度の拡充を提案する。また、太陽光発電システムの普及推進策を示せ。

市長 ①限りある資源を後世につなげていく我々の使命を深く認識し、自然と人とが共生する持続可能な社会の構築を図る必要がある。

緑のカーテンで室内が涼しくなった湊保育園

緑のカーテンで通路も涼しい

市民生活部長 ②新年度中に制定を目指す「地球温暖化対策条例」に、緑のカーテンを初めとした建築物の緑化推進を反映させ、広く市民に協力を求めていく。アサガオの種は希望する市民に配布する。③国・県の制度運用の動向を注視する。新たに整備する公共施設に太陽光パネルの設置を検討する。

徳光スマートインター24時間運用について

質問 定額給付金が支給され、高速料金が値下げとなる。ゴールデンウィークまでに24時間運用を開始できないか。

建設部長 早急に地区協議会を開催し、24時間運用に向けた協議を進めたい。

コミュニティバスの運行拡充について

質問 ①市民温泉やC.C.Z.プール行きのルート設置を提案する。②土曜日や日曜日の運行拡充を提案する。

企画財政部長 ①4月から北西コースにJR松任駅と上小川間をノンストップで走る特急便を増発し対応する。②2年前に試行運転したが利用客が平日の半分以下であった。利用者の声を聞きながら、再度の試行も視野に入れたい。

小川 義昭 議員

Q 市総合計画を見直す考えはあるのか

A 適宜見直しを図りたい

市総合計画

質問 「市総合計画」は、平成18年度、10年計画で策定され、21年度は中間期に当たる。しかし、「百年に一度」ともいわれる昨年よりの世界同時不況と地方経済の危機、さらに計画目標人口12万4000人に対し、推定人口は10万9000人と約1万5000人の人口乖離がある。計画を見直す考えはあるのか。

市長 計画策定時に比べ、経済、社会情勢がめまぐるしく変化する中、人口動態や計画内容を検証・評価しながら適宜見直しを図る。

山ろくの定住促進を

質問 「人口は自治体運営の基礎」である。産業の振興をはじめ、各種施策を着実に推進し、人口減少を最小限にとどめることが最重要課題である。特に、白山ろくの過疎化が深刻である。平成21年度を「定住元年」と位置付け、産業振興や基盤整備、生活環境などの定住施策を積み上げ、住民協働による「定住促進ビジョン」を策定してはいかがか。

市長 働く場所の確保のため、加賀産業道路沿いに新工業団地を整備したい。安価な宅地提供のほか、農林水産省による地域資源の活用事業などを支援する。

都市計画マスタープラン

質問 「都市計画マスタープラン」は、本市都市計画の具現化への10年計画である。「地域」より「地区」、しかも、商工農業者などあらゆる分野の住民の理解と納得が不可欠である。実施中アンケートの再考を問う。

建設部長 アンケートは実施中であり変更は考えていない。

古河 尚訓 議員

Q 適切な通学区のあり方や構想を打ち出すべきだ

A 新年度は議会と協議し、見直しの検討をしたい

質問 通学区域の再編成についてはこの間、行政側から対応策を示さない姿勢に終始してきた。市町村合併から5年目、子どもたちにも意見を求めるなど、適切な在り方について、構想を打ち出すべきではないか。

教育長 現在、市内の小中学校では、児童生徒数が大きく増減しており、増改築が必要な学校や通学区域の見直しが必要な学校が生じている。新年度は学識経験者、地域の代表、保護者などから意見を聴き、議会と協議しながら見直しの検討をしたい。子どもたちからも意見を聴くことは大切と考え、「子ども会議」の中で協議したい。

蕪城小の増築スペース、さらなる大規模化が懸念

障害者雇用の現状

質問 市内の障害者雇用の実態を聞くとともに、解雇の事例がないか問いたい。また、施設・事業所での受注も減っているが、企業への働き掛けや、行政自らも仕事を創出できないか。

産業部長 ハローワークによれば、昨年6月、市内企業の障害者雇用の達成率は50％、昨年から障害者を解雇したとの届け出はない。また、障害者等自立支援協議会を通じて、商工会などとともに仕事の受注増加と就労の場の拡大に努めている。行政も本年度から清掃業務の一部を障害者福祉施設に委託している。

新型インフルエンザ対策

質問 大流行が危惧されている中、県が行動計画の見直し素案をまとめたが、白山市はどうするのか。

健康福祉部長 国・県の計画に基づく広域的な対応が必要であることから、市町の役割分担が明確に示された時点で、石川中央保健福祉センターと連携しながら本市の行動計画の策定を行う。

竹田 伸弘 議員

Q 市長、二期目の意気込みは

A 夢や希望が持てるふるさとづくりをめざす

質問 旧自治体間の格差解消に努めていくことが大事だと思うが、2期目のスタートを切った角市長の意気込みは。

市長 白山市長として2期目をスタートしたが、緊張感の中、決意を新たにしている。市民との協働による公正で公平な開かれた市政運営を念頭に、合併効果が最大限に生かされ、市民の信頼と安心が得られる政治の実行を第一に、将来にわたって夢や希望が持てるふるさとづくりに全力を傾注する覚悟だ。皆様方のご理解とご協力をお願いしたい。

質問 「百年に一度」の経済危機は市民の生活を直撃し、働く人々の雇用と生活不安が高まり、広がっている。

県による調査では、3月末の契約期限切れには、県内約2400人の非正規労働者が職を失うという厳しい状況が予想される。企業は当面、年度末の資金需要を何とか乗り切っていかなければならないが、資金繰りをどう支援していくのか。

白山市は企業誘致に力を入れているが、その企業が厳しいときは、できるだけ支援しなくてはならないと思う。その支援策に白山市はどう対応しているのか。

産業部長 1月に緊急雇用・経済対策連絡協議会を庁舎内に設置し、32名の新たな臨時職員を採用して雇用の創出を図った。4月からは緊急雇用創出事業や、ふるさと雇用再生特別基金事業に取り組み、新たに108名の雇用機会の拡大を図る。

中小企業緊急雇用安定助成金制度については、雇用実態調査を実施し市内669社に周知し、雇用維持のための積極的な活用を図った。

中小企業の資金繰りの支援として市内経済団体・金融機関と意見交換を重ね、市の融資制度の運用に努める。また、土日祝日に金融相談窓口を開設しセーフティネットの保障制度などについて対応する。

大口 英夫 議員

Q インターンシップの受け入れを積極的に

A 大学生の受け入れ対象を全国に拡大する

質問 公機関の使命として、生徒や学生の職場体験・インターンシップを積極的に受け入れてもらいたい。

総務部長 前年度は、大学生3名、短大生4名、高校生2名の計9名を受け入れ、総務・企画財政・産業・観光推進部や教育委員会、図書館などで実習を行った。

今年度は大学生の受け入れ対象を全国に拡大したい。また、中学生は職場体験学習「わく・ワーク体験」事業として、松任・光野・笠間・美川中学校から2年生18名を受け入れた。

職場実習をされた皆さんは、望ましい職業観を身につけ、公務・地方行政に対する理解を深め、今後の職業選択の参考にしてもらいたい。

質問 公立病院の日曜夜間の小児救急外来を設置してほしい。

健康福祉部長 残念ながら小児救急センターの開設は、地域の小児科医のマンパワー不足等により、現状は困難な状況である。今後関係機関と連携しながら小児救急医療体制の充実強化に向けて調査研究を進めたい。

質問 退任する杉本哲郎副市長は、一生懸命働いてこられた。心から敬意と感謝を申し上げる。

市長の評価はいかがか。また、副市長は職員にどのような言葉を残したいか。

市長 平成12年4月に県職員から松任市助役に就任され、平成17年3月からは白山市助役・副市長として、私のよき補佐役として、通算で約9年もの長きにわたって市政推進の重責を担っていただいた。

特に市町村合併に当たっては、全国的に注目された広域合併事務方の責任者として取りまとめ、円滑な合併業務の遂行にご尽力をいただくとともに、合併後の新しいまちの基礎づくりに、そのたぐいまれな行政手腕を発揮され、今日の順調な市政の進展に大きな役割を果たされた。

副市長 職員には『努力』という言葉を大切にして、これから直面する困難や不可能な問題に対して、真正面から取り組み、努力の積み重ねによって克服していただきたい。

退任された
杉本哲郎副市長

小島 文治 議員

Q 副市長2人制の導入理由、目的について問う

A 複雑多様化する行政課題に的確、迅速に対応

職員育成の基本的な考え方を示せ

質問 地方分権時代における職員育成の基本的な考え方は。

総務部長 時代に対応できる職員の育成は喫緊の課題である。そのため、白山市職員人材育成基本方針に基づく研修計画を策定し、挑戦・改革する職員、市民の視点を持つ職員、高い職務倫理と接遇能力を持つ職員、目標・成果を重視する職員、専門家を目指す職員などの基本的方針をもとに、職員の意識改革や能力開発に努めてきた。

今後も引き続きこの方針により、市民や時代に求められる職員の育成に努める。

適正な定員管理を

質問 定年退職者増加に伴う職員の定員管理、組織運営及び保育士の確保について問う。

総務部長 今後も増える退職者を見込み、市行政改革大綱に示されている「平成26年度までに職員定数850人」に対応した組織づくりを目指す。今後も業務の統合・合理化を進め、組織のスリム化を図り、スクラップアンドビルドによる組織の再編に努めるとともに、地方分権時代に合った柔軟で意欲のある職員を育成し、効率的な組織運営に努める。

保育士の確保については、公立保育所の統廃合・民営化推進を前提に進めている実施計画の推移を見ながら採用に努めたい。

管理職登用試験制度導入を

質問 管理職登用試験制度の導入について問う。

市長 組織の活性化、効率的な運営のために管理職に求められる能力として、組織を牽引していく意欲や中心を担う力量が必要である。試験の結果だけでは判断できないことから、現在のところ導入は考えていない。

質問 副市長2人制の導入について問う。

市長 地方の特色を生かした自治体運営が求められている中、一層の組織強化と市民福祉の向上を図り、安全で安心できるまちづくりを進めることが期待できる。

事務分担については、複雑、多様化する行財政課題に、的確・迅速に対応できる執行体制の基盤強化が図れるよう検討したい。

宮岸 美苗 議員

Q 石川線・鶴来駅～加賀一の宮駅は存続支援の対象か

A 小さな金額の支援というなら検討の余地あり

石川線一部廃止問題

質問 高齢化と地球環境に対応したまちづくりを重視するなら、税金投入しても「鉄道」は残すべき交通手段といえる。全線残してこその石川線の値打ちであり、この前提に立った対応が求められるがどうか。

市長 自動車と公共交通のバランスをとりながら、公共交通中心の生活にシフトする施策への転換が重要だ。石川線の存続は行政あげて支援し、市民の利用促進も図りながら存続できるよう努力する。

質問 鶴来駅～加賀一の宮駅間は存続支援の対象か。

市長 廃止区間維持のための全額支援は無理だが、北鉄が小さな金額で応援をというなら検討の余地はある。県・沿線市町と連携して対応していく。

石川線に案内係配置

質問 接客業務を実施しているえちぜん鉄道などの経験に学び、研修を重視し恒常的な事業として定着させよ。

企画財政部長 3年間の継続事業で、毎年6人を雇用するが、一過性の雇用とは考えていない。民間への委託なので、市としては事業の趣旨を踏まえた研修を望んでいる。

国保税と介護保険料

質問 一般会計からの繰り入れで、高すぎる国保税の引き下げと、介護保険料の値上げを凍結せよ。

市長 国保税は、今年度は基金を取り崩し税率を据え置いた。10年度以降財源不足となるなら、市民の理解が得られる程度の一般会計からの繰り入れを検討したい。

健康福祉部長 介護保険制度の趣旨から、一般会計からの繰り入れは適切ではない。

介護職員の待遇改善

質問 市の支援策が必要だ。

健康福祉部長 国が、介護報酬改定による処遇改善の効果検証の委員会を設置するので、推移を見守りたい。

仕事おこし・雇用拡大

質問 学校などの耐震化を前倒しして、中小企業への仕事おこしにつなげよ。

市長 6月補正予算で対応したい。

質問 全小中学校での30人学級と病児保育の実施で、マンパワー事業を拡大せよ。

教育部長 教師採用・教室不足など問題が多く、財政逼迫の折、全小中学校での30人学級は困難。

健康福祉部長 公立松任石川中央病院、野々市町、川北町と、実施に向けての協議を進めている。

村本 一則 議員

Q 電気料金の契約を見直し経費削減をすぐに行え

A 適正な節減効果を上げるよう今後検討する

電力会社との契約を一元化して経費削減を図れ

質問 市は電気料金として年間約7億円支払いしてきている。民間企業の電力会社との契約を役所として一元管理し交渉を行い、経費節減を行うべきではないか。CO_2削減に対しても効果が期待できると思う。

市長 おのおのの所管にて担当別に管理している。

総務部長 各部署にて担当の規模に応じて適正な電力契約を行うことが現段階では最も有効で最適と考えているが、七尾市などを参考にして経費の削減につながることであれば検討していく。

芝生公園としての整備を県に申し入れよ

質問 県立白山青年の家の登り口横付近の県所有地は荒れ放題となっていて、地元からも見苦しいと苦情が出ている。芝生公園として整備し、パークゴルフなどできるように県に要望してはどうか。

市長 公園として整備することは難しい。

建設部長 県立ふれあい昆虫館管理の用地は、昆虫の生育の観察に利用しており、自然のままで残す必要があるため公園として整備できない。しかし、周辺の雑草が繁殖している所は見苦しいので、県に対して管理を要望する。

山ろくの定住促進を芝生公園として整備が望まれる県敷地

その他の質問

質問 廃校小学校校舎の農業施設としての活用は。

教育部長 国の補助金の返還につながるので対応できない。

質問 自治基本条例制定の時期は。

市長 この任期中に制定したい。

質問 経常収支比率の改善策は。

企画財政部長 徹底した経費節減と市税増にて対応する。

総務企画常任委員会

個別外部監査制度導入される

地域審議会の見直しは

質問 地域審議会はいつまで残るのか。

答え 合併協定の中で10年間の平成26年度までとなっている。

質問 市議会もあり、必要性について見直しが必要ではないか。

答え 合併協議会の中でもいろいろな意見があり、最終的に10年間となった。審議会では、特に山ろくの委員から積極的な意見が多いなど、現状では必要と考えている。年1、2回、開催されており、新市建設計画の進捗状況を説明している。将来的には新市建設計画は、市総合計画に移行されるものと考えている。

松任明治洋風館は、防災、防犯の面から利用の見直しを

質問 利用があまりされておらず、このままでいいのか。今後、どういう形で市民に提供していくのか。

答え この施設は、平成9年に市に寄附されたもので、旧石川郡では初めての洋館といわれ、寄附された方の意向もあり地域の集会施設、また一般の方が利用できるよう市が管理しているが、この施設の位置付けは今後の課題となっている。

意見 利用実態を把握され防災、犯罪を防ぐ面から対応策を考えられたい。

山ろく地域の分譲宅地の状況は

質問 安価な分譲を検討しているのはどこか。

答え 白峰地区を考えており、当初の2区画だけが分譲済みであり、それ以降売れていない。白峰地区で価格希望調査をしたが、具体的な回答はなかった。

質問 購入するに当たり条件はあるのか。

答え 住所を置き、住むことができる方ならどなたでもよい。

意見 安価な住宅地として売り出すだけでなく、企業を誘致するなどの具体策が必要である。

個別外部監査制度の導入は

質問 専門的な外部による監査はどうなるのか。

答え 現在の監査制度は、いわゆる内部監査であり、今回は外部監査として導入するものである。

質問 個別に要求があった場合だけなのか。

答え 個別に要求があった場合であり、議会の議決が基本として必要となり、予算化も必要となる。

文教福祉常任委員会

体育施設においても広告を募り財源確保に努めよ

松任総合運動公園グラウンドへの広告について

質問 松任総合運動公園グラウンドに人工芝が設置された。他市では、全庁あげて本庁舎や児童館にも広告を載せ、財源確保を行い財政再建に取り組んでいる。今後の対応は。

答え 青少年健全育成の施設であるが、広告については、県内他市町や先進事例を参考に今後検討したい。

保育所などの備品購入への予算措置について

質問 予算要求しても通らないからと、備品について保護者に負担させるのはどうか。自発的であれば苦情は出ないと思うが負担の基準はあるのか。もっと子どもに対して予算措置を図るべきではないのか。

答え 備品の負担基準はなく、すべて市が負担すべきものである。平成17年より毎年経常経費が削減される中、需用費や備品購入費も削減されており、必要最小限のものしか買えない現状であるが、今後折衝していく。

少人数教育（30人学級）推進事業について

意見 白山市の導入している30人学級について反対するものではないが、教員の加配で税金を4700万円計上している。県の施策を利用すれば35人学級となり市としての負担はなくなる。白山市の財政、経常収支比率なども考慮の上、民間発想も採り入れながら、1年間研究していきたい。

答え 30人学級は旧松任市時代より導入している。教育の効果はすぐに表れてくるものではないが、学校現場では目が行き届き丁寧な指導ができることから、今後成果が表れていくものと確信している。

30人か35人か検討課題の少人数学級

生活経済常任委員会

雇用機会の確保に向けて

3月18日、予算案5件、補正予算案2件、条例案1件、事件処分案5件、専決処分の承認1件を審議し、全議案を全会一致で可決した。

ふるさと雇用再生特別基金事業

質問 市の取り組みは。

答え 地域ブランド商品開発など7つの事業に取り組み、新規雇用につなげていきたい。

起業家支援事業

質問 起業家支援事業とは。

答え 空き店舗を利用して情報サービス業などを始める事業者を支援するもの。

意見 市の伝統産業や地域の特性を活かした業種にも対象を拡大されたい。

質問 弁護士による相談の日が増えるが、場所はどこか。

答え 倉光二丁目の市民交流センターで4回増える。ほかには、こがね荘、蓬莱荘、美川公民館で行われている。

質問 アメリカシロヒトリの防除は町会の合同実施や、平日実施を推奨できないか。

答え 適期に防除に当たれるように町会連合会を通じてお願いしたい。

質問 林道の修繕の考え方は。

答え 幹線は年間を通じ、ある程度、草刈や側溝の維持管理をする。集落内まではできない。

意見 金沢、小松へ連結する林道は舗装に取り組みされたい。

質問 農地の土づくり推進事業はどの地域で行われるか。

答え JA松任管内で4年ごとのローテーション。本年は旭、山島、一木地区で実施する。JA白山管内にも拡大する。

牛ふんを活用した肥料づくり
（白山市松任農業有機供給センター）

質問 暖冬だったが、スキー場の入り込みは。

答え 一里野は8万6000人で10%増、セイモアは5万7000人で10%の減となった。

建設企業常任委員会

交通安全施設の総点検を実施せよ

交通安全施設について

質問 道路や町内に設置されているカーブミラーについて、市ではどのような管理をしているのか。

答え 町内のカーブミラーについては、町内会にボランティアなどで清掃してもらっている。それ以外のものについては、担当課で見回っているが、かなりの数があり、市民から連絡があった場合、確認し修繕の必要があるものについてはすぐに対応している。

意見 交通安全施設等整備事業に関し、総点検などを市で行い、安全施設が十分に機能を果たせるようにすべきである。

市道あさひ荘苑福増線道路整備事業について

質問 海側幹線の一部供用開始について説明せよ。また、県、市の各施工箇所が全線開通しないと供用しないと思われるが、渋滞の激しい箇所は、全線開通しなくても部分供用できないのか。また全面開通の見通しはどうか。

工事の進捗状況について、JR踏み切り部分の工事は日程どおりに進んでいるのか。

答え 海側幹線については、平成24年の春までに、国道8号乾東交差点から金沢市福増町南までの間が一部供用開始予定。

しかし、それまでにはJR線路下の海側2車線の推進工事が間に合わないが、平成26年の春ごろまでに開通と聞いている。

平成24年以前に渋滞の激しい箇所を部分供用することについては、交通体系から考えると、高速道路下とJR線路下を貫かない限り、部分供用は難しいと考える。

石川県が実施している
北陸高速自動車道下の推進工事

松任駅北相木地区土地区画整理事業について

質問 工事の進捗率と整備状況を示せ。

答え 進捗率は44%。整備状況については土地区画整理事業の中に自由通路の整備も含まれてきており、当初の計画と比較して若干進捗率が落ちた。しかし区画整理事業自体は順調に進捗している。

市民の声

「市議会に期待すること」をテーマに
地域の皆さんから、ご意見をいただきました。

子育て支援に期待

仲原 克彦さん（西柏１丁目）

日本三名山の白山や県内最大の手取川を有し、面積も県内最大、人口も金沢市に次ぐ二番目の白山市。そんな白山市において、子育て支援が重要だと思います。特に小児医療、子どもに「待った」はありません。ある時、夜中に熱を出し市内の公立病院に問い合わせると「眼科医しかいません」との返事。しかたなく金沢の夜間救急病院へ走ったことが、子どもが二人いると一度や二度ではありません。こんな状態でいいはずがありません。

子育て支援は各方面で年々増えていると思います。でも医療の面では白山市はまだまだ遅れていると思います。小児医療体制が完備されることで、安心して出産・子育てのできる市を目指していただくことが、ひいては白山市の発展につながると思います。

議員のみなさま、よろしくお願いいたします。

傍聴に参加して

宮中 優子さん（富光寺町）

私は仕事の休みが平日のため、一般質問の日と休みが合えば、必ず傍聴しに行っています。毎回行って思う事は、傍聴に来る方の数が少ないということです。一般質問は平日の日中に行われるため、傍聴に行くのが難しいと思いますが、都合が合えば、ぜひ行っていただきたいです。白山市を知ることにもなりますし、議員の方たちの考え方や、活動内容も見えてきます。傍聴に行けない方は、テレビや新聞、議会だよりでも、その内容を知ることができます。知ることによって、政治はもちろん、白山市への意識も高まり、市政づくりに私たち市民が参加していけるのです。

議員の方々の議会での一般質問は、私たち市民に日頃の活動をアピールできる場でもあります。なかなか活動が見えづらいというのが、私たち市民の声だと思いますので、議員の方々には、毎回の一般質問をできるだけしてほしいです。私たち市民と議員のお互いが努力することで、白山市はさらに良い市へと発展していけると思います。

新市議に望むこと

熊田 勝昭さん（湊町）

去る２月１５日に告示された、白山市長選と市議選は共に無投票当選に終わった。当選された方々には、幸運だったかもしれないが、市民には釈然としないものが残ったように思う。

選挙戦は時にはしこりを残すこともあるが、それでも候補者の主義主張や人柄をも知ることができるというメリットがある。しかしながら、今回の市議選から選挙区が全市一区となったことで、白山ろくから日本海までの広大な市域で、しかも、合併後初の選挙戦ともなれば、有権者の少ない地域からの出馬はどうしても躊躇され、結果として無投票になったことが悔やまれるのである。ともあれ、このたび、めでたく当選された市議の皆さま方には、合併前の旧市町村の区域にこだわることなく、広く白山市全体の均衡ある発展にご尽力いただきますと共に、今回無投票だったため選挙公報等で紹介できなかった自分の主義主張を市民に訴えることで、全市民に信頼され親しまれる知名度の高い市議になっていただきたいと切に願う。

編集後記

「地方自治は民主主義の学校」という言葉があります。皆さんの一番身近な地方自治として白山市があり、皆さんから公選された 28 名の議員で組織されている白山市議会があります。この『議会だより』を通して、皆さんに市議会での審議や活動状況をご報告し、また白山市議会への理解と認識を深めていただき、「住民に開かれた議会づくり」の責務の一端を担うものになると信じて、私たち７名の編集委員は精一杯、議会だよりの作成に取り組んでいきます。皆さんのご意見などございましたら、是非ご一報下さい。（編集委員一同）

■編集委員会
委員長：大口 英夫　副委員長：宮中 郁恵
委　員：石地 宜一、古河 尚訓、安田 竹司、宮岸 美苗、吉田 郁夫

発行日／平成21年5月1日　発行／白山市議会　編集／議会だより編集委員会　事務局／白山市議会事務局議事調査課
〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地　TEL:076-274-9580 FAX:076-274-8510
E-mail:gikai@city.hakusan.lg.jp　ホームページhttp://www.city.hakusan.ishikawa.jp/